

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

リヨン第二大学は2つのキャンパスがあり、一つはローヌ川沿いにあるリヨン中心地に近いキャンパスですが、もう一つはブロンというところにあり、リヨン市内から大学まで電車やトラムで40分ほどかかります。私が履修している言語学部の授業はすべてブロンで行われていたため通学が少し大変でした。しかしブロンキャンパスの方がローヌキャンパスよりも新しく、面積も広がったのですが、トイレなどはあまり清潔ではありませんでした。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

大学のオリエンテーションや授業自体は9月の二週目以降に始まりますが、9月1日から二週間、留学生向けの語学研修があります。1日のテストは語学研修のためのレベル確認のテストです。語学研修にもいくつかレベルがあり、入学手続きの際に自分で選べますが、1日に語学力のテストがあり、そこで正確に振り分けられます。希望クラスより自分の語学力があまりにレベルが低かったり高かったりしない限り希望のクラスに入れると思います。この研修はぎっしり授業が入っていて大変ではありましたが、すごくためになりましたし、この研修でできた友達がその後のリヨン生活で支えあう大事な友達になりましたので、行くことをお勧めします。料金は275€でした。

また、大学の授業が始まってからもSLMという1週間に2コマ(3時間半)の授業があります。そちらも留学生専用の授業で、聞き取りや読解、グループワークなどを行っていました。SLMの方が当てられる機会が圧倒的に多く、正直大学の授業よりもこの授業の方が大変でした。テストも20分のプレゼンテーションと、小論文と、留学生に対しても容赦ありませんでした。しかしフランス語力を上げるためにはとても良い授業だと思います。料金は1学期分は無料で、もし2学期目もとることになった場合300€ほどかかったと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

私は住居を個人的にとってしまったためか、大学側からの生活面のサポートはほぼありませんでした。特にトラブルもなかったため、大学に問い合わせることもありませんでした。

留学生向けのイベントは、入学当初に留学生の交流会やパーティーなどがよくありました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地での奨学金は特に利用しませんでした。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

普段の大学周辺の治安は良いと思います。ただ、大学の少し先のGuillotiereという駅は、移民が多く、治安の悪い駅として有名なため、通学の際にそこを通る場合は少し注意が必要です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

2018年4月頃から大学でストライキが行われたため、大学はほぼ毎日封鎖されていました。ストライキ中は色々な人が大学へ押し寄せる上に、爆竹を鳴らす人や大声で叫んでいる人もいたので治安が良いと言える状況ではありませんでした。ストライキのために多くの授業が休講になり、試験も行えないため、テストの授業がレポート課題になっていました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Lyon, ville durable (4)	
Grammaire du francais	
Langues et Langages (en francais)	
SLM B2 (5)	
Linguistique generale	
Version	
Approfondissement langue japonaise	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮/アパート/ホームステイ/その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 574.23€ 、(日本円) 約 77521 円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) /自炊/その他 ()

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩/自転車/バス/地下鉄/その他 ()、計 20/50 (キャンパス次第) 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

家賃は大学寮と比べると非常に高いですが、大学寮と異なり、サイトの写真や事前の見学などで、どのようなレジデンスか確かめてから入居することができます。リヨン第二大学の大学寮を選ぶと、入学手続きの際に部屋のタイプ (バストイレキッチン付き/バストイレ付・共同キッチン/共同バストイレキッチン) は選べますが、どこの寮に入るかまでは選べないので、1,2年前にできた新しい寮に入れる人もいれば、少し古い寮に入るようになってしまう人がいるのが難点です。しかし一人の友達は、とても古い寮に割り当てられてしまい、それが嫌で変えてもらうようにメールで交渉したら、新しい寮に変えてもらったということなので、交渉次第でうまく行く可能性もあるようです。大学寮を選んだ場合、入居手続きや月々の支払いなどすべて自分でやらなければならないところが大変そうでした。

一方私が個人的に探した…というよりは、日仏文化協会というフランス留学のサポートをしてくださる会社がありまして、私はそちらの会社に住居に関してはお願いしました。

もちろん手数料などがかかってしまいますが、現地で日本人スタッフのサポートがあるので、入居手続きの際はもちろん、それ以外にもビザの手続きや、ケータイの契約、リヨンで最初に到着した際に必要な手続きを手伝っていただけます。

また、大学寮の場合、稀ではあるようですが、管理人が勝手に部屋に入って来ることがあるようです。それがレジデンスだと絶対にはないです。

レジデンスにもよりますが、やはり大学寮と比べると家賃が高くなってしまふのが決定的なデメリットだと思います。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 _____、(日本円) 約 _____ 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 (_____)、(日本円) 約 15 万円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 900€、(日本円) 約 12 万円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (_____)

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

国際送金の手数料や銀行口座の開設も不要なため、特に問題もなく金銭面で困ることはありませんでした。フランスはカード決済が日本よりも普及しているため、ほとんどの店でカードが使えますが、稀に現金支払いのみの店があるので現金もある程度持っていく必要があります。

クレジットカードだとカード会社レートで引き落とされるため、少し割高になってしまふかもしれません。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

奨学金は生活費の足しにしていました。大学からは今回の留学で 15 万いただきました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIU 保険

(2) 保険料

213020 円

(3) 加入した保険の種類、内容

プラン R16 傷害死亡/障害後遺症/治療//疾病死亡/個人賠償責任/航空機手荷物遅延/航空機遅延費用/生活動産/緊急一時帰国費用 など

(4) 感想、良かった点・悪かった点

特に利用する機会がありませんでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

100 均の便利グッズ（洗濯道具や掃除道具）、毛布、割りばし

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

必要以上の服、日本食、

(4) 持って行けば良かったと思う物

非常に多くのものを持っていったため困ることはありませんでした。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は大学や語学学校に通っている時間が多かったため、日中に出かけたりすることはありませんでした。また、私は日本で 4 歳の頃からクラシックバレエを習っており、日本でよく講習会を開いていらっしゃる先生のスタジオがリヨンにあったため、そのスタジオに週 3～4 回ほど通っていました。フランス語を使いながら好きなことをできたので、私にとってリヨンでの稽古の時間はとても充実していました。

(2) 週末

基本的には家にいる時間が長かったです。次の週の授業の予習などを家でやっていました。気分転換に買い物へ行ったり、友人と食事に行ったりしました。

8. 後輩へのアドバイス等

留学の準備期間や当初は不安でいっぱいだと思いますが、意外と現地での 1 年間はあっという間です。勉強面はもちろん、精神的にも成長することができると思うので、留学はとても良い経験になると思います。思う存分楽しみ、勉強してください！

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。